

にわかりやすい形で公表していきたい。

再質問

正確な内容を市民に伝え、誤解を招くことがないようにお願いしたい。

〈その他の質問〉

○市街地にぎわい再生事業と市長選に伴う批判について
○坂手畜産団地のハエと悪臭問題について、環境に問題が多いことから準工業地区に指定することは方法によっては可能と思うがどうか。



予約型乗合交通ふれあい号の運営に関する諸問題について

遠藤 章江議員

質問

平成21年10月より予約型乗合交通が発足して2年以上が経過した。市民からは以前走っていた無料の福祉循環バスと比較して賛否両論、多くの意見を耳にする。平成21年の6月議会では福祉循環バスの継続を求める決議も採択され、また、半数以上の市民からは1000円程度の負担があっても福祉循環バスの継続を望む声が寄せられる中、どうして乗合タクシーの導入に突き進んでいったのか不思議でならない。導入から2年以上経過したので、乗合タク

シーが市民の足として適当であるかどうか、いったん見直しも必要な時期ではないかと思ひ、

①乗合タクシーの運営・管理状況、利用状況について問う。

②現在までに市民、利用者から寄せられている意見や要望、トラブル等にはどんなものがあるかを問う。

答弁（企画部長）

①運行開始以来、平成24年4月末時点で延べ5万7860人の利用、5934人の利用登録がある。運営は国土交通省の補助金を活用している。今後も最適な

公共交通のあり方について検討を行っていく。

②開始当初は、有料化への反対の意見、土日の運行や運行時間の延長、市外への運行を求める意見があった。その後は、便利になったとの声以外に、予約が取りづらいなどの意見もあった。予約方法等の周知徹底を図っていく。

再質問

①赤字額と言われるものはどれくらいか。補助金がつかなくなつた時のことも考えて運営していく必要があると思ふ。

②利用者が増えていないようであるがどうか。

再答弁（企画部長）

①市の実質負担額は平成22年度決算で、2045万6699円になる。

②近々の状況では、1日当たりの利用者は減つていないと認識している。

障がいを持つ子どもたちの児童デイサービスについて

高杉 徹議員

質問

児童デイサービスは障がいを持つ子どもたちの早期療育、早期教育を受けるための施設としてスタートし

③7事業所6台で運行している。

再々質問

バスとデマンドと両方実施しているところもあるので、検討していただきたい。

〈その他の質問〉

○市民コミュニティ支援事業の問題点について
○震災がれき受け入れと、焼却灰の最終処分に関する常総市の考えについて



予約型乗合交通ふれあい号

12名であったが、現在の利用者は81名となっている。サービス内容としては(1)言語指導(2)理学療法(3)作業療法(4)個別指導(5)小中高生の集団指導となっている。このように、障がいを持つ子どもたちへの幅広い支援サービスを行い、関連機関と連携して発達障がいに対応している児童デイサービスはとても重要である。今後、より一層発展しサービス内容が充実していくことを願ひ、次のことを伺う。

①当市では障がいを持つ子どもたちの早期療育の重要性についてどう考えているか伺う。

②児童デイサービス利用者が増える中、現在の施設は狭くなつている。また、3階にあるため災害時の移動には大変な不安がある。広い場所で早期療育を行うことを検討いただきたいがこのような計画、構想があるか伺う。

③発達検査は子どもたちが早い時期に適正な教育を受けるために重要である。そして、専門家による検査が必要である。ぜひ、市内に小学生の発達検査を行う所をつくっていただきたい